

関西・中四国エリアで有機農業に取り組む生産者、および関係者の皆さま

有機農業新規参入促進事業 関西中四国ブロック講習会

寒冷の候、2025年も残りわずかとなりました。皆さまにおかれましては、今年の出荷の追い込みや片付け、そして来たる2026年に向けた計画づくりなど、お忙しい日々をお過ごしのことと存じます。本研修会は、国の「有機農業新規参入促進事業」の一環として開催されます。北海道から九州まで全国5か所で連携し、各地の生産者がこれからの有機農業に必要な技術や知見、そして想いを共有し合う場づくりを目指しています。必要な技術や知見、そして想いを共有し合う場づくりを目指しています。

関西ブロックのテーマは「**有機農業に取り組む意味を問い直す**」です。

国が策定した「みどりの食料システム戦略」により、有機農業は環境負荷低減や持続可能性の文脈で強く推進されるようになりました。しかし、有機農業者が社会に示してきた価値は、環境面だけだったのでしょうか？そもそもなぜ有機農業を選んだのか。就農当時の「志」を今の経営の中でどこまで貫けているのか。あるいは、それを妨げているものは何か。経営を成立させながら、同時に社会的な意味を提示し続けるにはどうすればよいのか。今の社会状況の中で、農業や地域はどうあるべきか。今回は技術論を超えて、こうした本質的な部分を皆さまと考えたいと思います。

この問いに向き合うため、今回は有機農業の「外側」の視点も交えながら議論を深めます。

基調講演にお招きするのは、農系ポッドキャスト「ノウカノタネ」のパーソナリティ、つるちゃんです。ご存じの方も多いと思いますが、つるちゃん自身は有機農業者ではありません。しかし、だからこそ今回のメインスピーカーをお願いしました。同じ農業者として現場に立ちながら、科学、経済、社会、哲学に至るまで、あらゆる角度から「農業」そのものを深く考察し、発信し続けている彼。その鋭くもフラットな「外部からの視点」は、私たち有機農業者が無意識にとらわれている常識や価値観を相対化し、新たな気づきを与えてくれるはずです。さらに、この問いを深めるために強力な2名のゲストが加わります。

一人目は、「100年先も続く農業を」を掲げる**株式会社坂ノ途中の小野邦彦氏**。有機農産物の流通事業を牽引する社会的起業家であり、最近では「坂ノ途中研究室」として有機農業の科学的インフラ構築にも取り組んでいます。持続可能な生産と流通の未来図について伺います。

二人目は、開催地神戸から、**株式会社ナチュラルリズムの大皿一寿氏**。長年CSA（地域支援型農業）を実践し、消費者とダイレクトにつながりながら地域に有機農業を根付かせてきた、まさに「王道」の実践者です。なお、午前中には大皿氏の圃場見学ツアー（要事前申込）も行います。

外部からの視点（つるちゃん）、持続可能な流通の視点（小野氏）、そして地域に根差す実践者の視点（大皿氏）。三者三様のアプローチから見えてくる「有機農業の現在地」と「これからの意味」。答えは一つではありません。だからこそ、皆さまと膝を突き合わせて語り合うことに価値があると考えています。当日の様子は後日アーカイブ動画としてWeb公開予定ですが、ぜひ熱気あふれる会場で議論にご参加ください。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

有機農業新規参入促進事業

関西中四国ブロック講習会 開催案

日 時： 2026年2月18日（水）

場 所： 神戸市西区役所玉津支所たまつホール （兵庫県神戸市西区玉津町小山 180-3 玉津庁舎内）

テーマ： **有機農業に取り組む意味を問い直す**

講 演： **ノウカノタネの取組紹介** ノウカノタネ つるちゃん

事例報告： 「神戸の有機農業の今～CSA モデルの展望」 株式会社ナチュラルリズム 大皿一寿氏

「坂ノ途中研究室の取組について」 株式会社坂ノ途中 小野邦彦氏

ファシリテータ： 伊賀ベジタブルファーム(株) 村山 邦彦

参集範囲： 関西・中四国エリアで有機農業に取り組む生産者、周辺事業者

申 込： グーグルフォームよりお願いします。

<https://x.gd/ok2Wn>

申込はこちらから



当日スケジュール

10：30 オプショナルツアー 【ナチュラルリズムファーム視察】

--玉津支所第2駐車場 集合

13：30 参加受付開始

14：00 講習会

講演 ノウカノタネ つるちゃん（40分）

事例紹介 ナチュラルリズムファーム 大皿氏（15分）

坂ノ途中研究室の取組 小野氏（15分）

15：30 フォーラム～講演者クロストーク／ 質疑～会場との意見交換

17：30 セミナー終了

終了後は有志による懇親会等を予定しています。（詳細後報）

お問い合わせ先 ⇒ 村山（伊賀ベジタブルファーム）

e-mail： kmurayama@iga-vegetable.jp

携帯電話： 080-3120-31210